

34 針曽根町のイヌマキ群



イヌマキ（マキ科）

樹高 10m

幹周 1.4m

所在地 針曽根町荒井側3

所有者 村松順次

当家には、三河大地震（昭和20年）までは土蔵が数棟あり、米蔵として使用していたものもあった。このイヌマキは、この米蔵の遮光と温度上昇を防ぐために植えられたものである。そのためか、ここに保管されていた米は味がよいとの評判であった。

土蔵は倒壊してしまい、現在はそのイヌマキだけが残ри、庭木仕立てにして大切にされている。